

キャロウェイ
AIフェースの補正能力を大幅に高め、
ブラッシュアップされたボディに搭載
ELYTEドライバーシリーズ

キャロウェイゴルフ株式会社（東京都港区白金台 社長：庄司明久）は、「ELYTEドライバーシリーズ」を2025年2月7日以降順次、全国のキャロウェイゴルフ取扱店とキャロウェイオンラインストア(callawaygolf.jp)にて発売いたします。

スピードと寛容性を同時に追求するのは難しいという概念を、2025年の新シリーズ、「ELYTE」が大きく打ち破りました。大きな要因の1つは、新たに採用されたAi 10x FACE(エーアイ テンエックス フェース)。AIの設計を微細な部分まで製品へと反映できたことで、弾道を補正するコントロールポイントは前作PARADYM Ai SMOKEシリーズのドライバーと比較して10倍にまで増加しました。また、チタン製バーツをつくることができる3Dプリンターへの投資で、プロトタイプの製作時間が従来のリードタイムが1/90となり、約75回もの試作によって、フェースの性能が著しく向上、安心感のある見た目とともに空気抵抗も低減したヘッド形状を実現。さらに、航空宇宙分野で使われている、より成型がしやすく、打感や打音も良くなるサーモフォージドカーボンも、初めてクラウンに導入されました。これら多くの進化によって完成したのは、従来以上に遠く、狭い着弾範囲に、やさしく打つていける4つのドライバー。幅広いプレーヤーに対応する「ELYTEドライバー」、ドローバイアスの「ELYTE Xドライバー」、もっとも軽量化されたモデルである「ELYTE MAX FASTドライバー」、そして、伝統的な洋ナシ型ヘッドが特徴的な「ELYTE ◆◆◆ドライバー」というラインアップです。

ELYTE（エリート）ドライバーシリーズ

ELYTE



ELYTE
ドライバー



ELYTE X
ドライバー



ELYTE MAX FAST
ドライバー

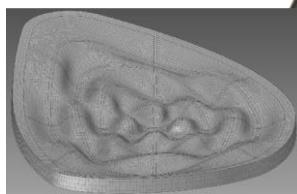


ELYTE ◆◆◆
ドライバー

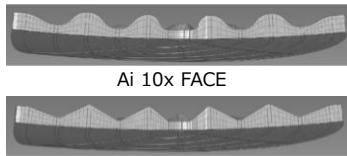
CALLAWAY SELECTED
STORE 限定製品

ELYTE（エリート）ドライバー

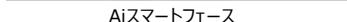
2025年2月7日以降順次発売予定



Ai 10x FACE
(イメージ図)



Ai 10x FACE



Ai Smart Face

フェース裏側（断面イメージ）の前作との比較。前作のAiスマートフェースが直線的な形状であるのに対し、Ai 10x FACEはAIの設計を、より精緻に再現できているため、曲線的なものになっている

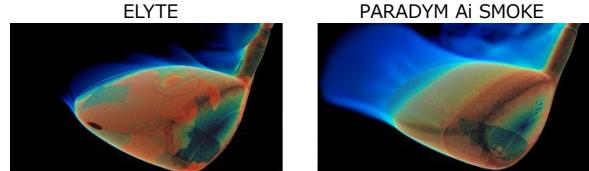
スピードと寛容性の両立を実現し、飛びは傑出したエリート領域へ

Ai 10x FACEで、弾道を補正するポイントが10倍に増加

新しい「ELYTE」のドライバーにおいて、いちばんの進化ポイントはフェースです。前作のPARADYM Ai SMOKEシリーズにおけるAiスマートフェースは、当時のソフトウェアの能力には、AI設計のフェースデザインを細部までスキャニングすることに限界があり、製品に100%反映することが困難でした。「ELYTE」では、ソフトウェアを大きくアップデート。微細な部分までフェースデザインを再現することが可能となつたため、コントロールポイント（フェース上にある、最適な弾道に補正する場所）が、PARADYM Ai SMOKE MAXドライバーと比較して10倍の25,000ポイントにまで増加しました。また、AIにインプットしたリアルなスイングデータも、大幅に増やされており、各ポイントにおける補正精度を高めています。このフェースは、コントロールポイントが10倍になったことから、「Ai 10x FACE」と名づけられました。この進化した「Ai 10x FACE」により、前作比較で飛距離が最大8ヤード※1伸び、着弾範囲が最大19%※2狭まる（キャロウェイ調べ）という驚異のパフォーマンスを発揮します。

約75回もの試作で、空気抵抗が少なく安心感のある形状に

「ELYTE」では、新たな投資によりチタンを扱うことのできる3Dプリンターを導入。従来の90分の1のリードタイムでプロトタイプが製作できるようになったことで、約75回ものヘッド形状の試作とテストを行うことが可能となりました。最終的に採用されたシェイプは、前作よりもシャローですが、投影面積も大きい安心感のあるものになり、空気抵抗も大きく減少。ヘッドスピードの向上に大きく貢献しています。



前作との空気比較。青い色は、気流がスムーズではなく、空気抵抗になっている部分を示している。ELYTEのほうが圧倒的に青色の部分が少ない



※イメージ図

前作同様、キャロウェイらしい丸い形状をしたELYTEドライバーのヘッド。ただし、試作回数の大幅な増加により、前作よりも大きな見た目を実現しつつ、空気抵抗もより少なくなっている



打球音の良さにも貢献したサーモフォージドカーボン

ヘッドのクラウンに使用されるカーボン素材には、新たに、航空宇宙分野でも使用されるサーモフォージドカーボンが採用されました。軽くて強度が高いことに加え、従来のトライアクシャル・カーボンより成型がしやすく、より高い精度で設計どおりに製造する事が可能という特徴も持ち合わせたものです。この新素材を採用したことで重量配分が最適化され、スピンドルや打ち出し角が、より理想的なものとなっているだけでなく、心地良い打球音まで実現しています。

約13gのウェイトで、約20ヤードの左右幅の調整が可能

シリーズ中、スタンダードモデルの位置づけとなる「ELYTEドライバー」では、ヘッド後端に3カ所、新しいスタイルのウェイトポートを設置しています。それぞれ、ドロー、ニュートラル、フェードというポジションとなっており、約13gのウェイトの装着場所を変更することで約20ヤードの左右幅の弾道調整が可能です。また、今回のウェイトポートは、リブ構造なども必要のない設計となっているため、前作のスタンダードモデルであるPARADYM Ai SMOKE MAXドライバーに採用されていたスライド式のウェイトと比べてかなりの軽量化も達成。重量配分の最適化に大きく貢献しつつ、よりヘッドの外周に密度の高いウェイトを装着することが可能になったことで寛容性の向上も図られています。なお、「ELYTEドライバー」では、ソール前方に約2gのスクリューウェイトも備えています。

ボールの上がりやすさを求めて、ソールはすべてチタンに

「ELYTEドライバー」のヘッドは、体積が460cm³でキャロウェイらしい丸型のヘッド形状をしています。サーモフォージドカーボン製のクラウンに対し、ソールは低重心にしてボールが上がりやすくなるよう、すべてチタンで製作しています。ロフトは9、10.5、12度の3種類を用意し、アジャスタブルホーゼルも採用。対象のターゲットは、幅広いレベルのプレーヤーが想定されており、前作よりもボールのつかまりが良く、ストレートドローの弾道を生み出す特性となっています。

※1：ELYTEとPARADYM Ai SMOKE MAXドライバーの比較結果に基づく。平均数値で1.8ヤードの飛距離が向上。

※2：ELYTEとPARADYM Ai SMOKE MAXドライバーの比較テスト結果に基づき、キャリーにおいて着弾範囲が最大で19%狭まる。

ELYTE X（エリート エックス）ドライバー

2025年2月7日以降順次発売予定



ELYTE
x

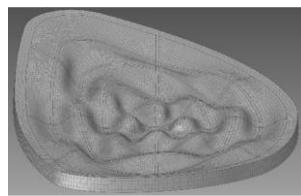
セカンドの景色を大きく変える、
高精度の理想的ハイドロー

Ai 10x FACEで、弾道を補正するポイントが10倍に増加

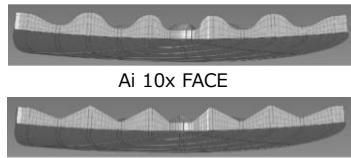
新しい「ELYTE」のドライバーにおいて、いちばんの進化ポイントはフェースです。前作のPARADYM Ai SMOKEシリーズにおけるAiスマートフェースは、当時のソフトウェアの能力には、AI設計のフェースデザインを細部までスキャニングすることに限界があり、製品に100%反映することが困難でした。「ELYTE」では、ソフトウェアを大きくアップデート。微細な部分までフェースデザインを再現することが可能となったため、コントロールポイント（フェース上にある、最適な弾道に補正する場所）が、PARADYM Ai SMOKE MAX Dドライバーと比較して10倍の25,000ポイントにまで増加しました。また、AIにインプットしたリアルなスイングデータも、大幅に増やされており、各ポイントにおける補正精度を高めています。このフェースは、コントロールポイントが10倍になったことから、「Ai 10x FACE」と名づけられました。この進化した「Ai 10x FACE」により、前作比較で飛距離が最大8ヤード※伸び、着弾範囲が最大19%※²狭まる（キャロウェイ調べ）という驚異のパフォーマンスを発揮します。

約75回もの試作で、空気抵抗が少なく安心感のある形状に

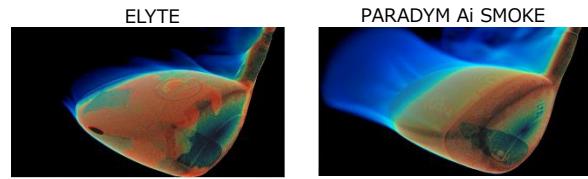
「ELYTE」では、新たな投資によりチタンを扱うことのできる3Dプリンターを導入。従来の90分の1のリードタイムでプロトタイプが製作できるようになったことで、約75回ものヘッド形状の試作とテストを行うことが可能となりました。最終的に採用されたシェイプは、前作よりもシャローですが、投影面積も大きい安心感のあるものになり、空気抵抗も大きく減少。ヘッドスピードの向上に大きく貢献しています。



Ai 10x FACE
(イメージ図)



Aiスマートフェース



前作との空力比較。青い色は、気流がスムーズではなく、空気抵抗になっている部分を示している。ELYTEのほうが圧倒的に青色の部分が少ない

打球音の良さにも貢献したサーモフォージドカーボン

ヘッドのクラウンに使用されるカーボン素材には、新たに、航空宇宙分野でも使用されるサーモフォージドカーボンが採用されました。軽くて強度が高いことに加え、従来のトライアクシャル・カーボンより成型がしやすく、より高い精度で設計どおりに製造することが可能という特徴も持ち合わせたものです。この新素材を採用したことで重量配分が最適化され、スピン量や打ち出し角が、より理想的なものとなっているだけでなく、心地良い打球音まで実現しています。

ウェイトポートは2カ所で、18gのウェイトも用意

シリーズ中、よりやさしさを求めるモデルとなる「ELYTE Xドライバー」では、ヘッド後端のヒール側と中央に2カ所、新しいスタイルのウェイトポートを設置しています。それぞれ、ドロー、ニュートラルというポジションとなっており、約13gのウェイトの装着場所を変更することでボールのつかまり度合いを調整することができます。また、前作よりもヘッドの外周に密度の高いウェイトを装着することが可能になったことで寛容性の向上も図られています。なお、カスタムウェイトにてヘッドの左右と上下の慣性モーメントを、合計で10K (10000g·cm²) とすることも可能となりました。

ヒール側内部を肉厚化し、ドローバイアス設計に

「ELYTE Xドライバー」のヘッドは体積が460cm³で、ELYTEドライバーよりもやや前後長があり、ボールの上がりやすさを感じさせる形状となっています。また、ヒール側の内部をやや肉厚としているため、ドローバイアスとなり、ボールのつかまりの良さを向上させています。サーモフォージドカーボン製のクラウンに対し、ソールでは低重心にしてボールが上がりやすくなるよう、すべてをチタンで製作しています。ロフトは9、10.5、12度の3種類を用意し、アジャスタブルホーゼルも採用。対象のターゲットは、弾道が右に行ったり、低く飛んだりする傾向のプレーヤーが想定されており、基本的には、前作よりもボールのつかまりが良く、高弾道もやさしく実現してくれる特性となっています。



ELYTEドライバーよりも、フェース面からヘッド後端までの長さがある「ELYTE Xドライバー」のヘッド形状。ヒール側の内部が肉厚な設計となっているため、ボールがつかまりやすくなっている

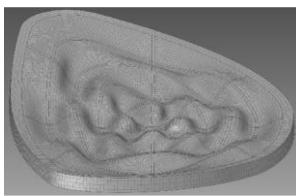


ELYTE MAX FAST（エリート マックス ファスト）ドライバー

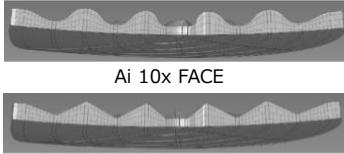
2025年2月7日発売予定



Ai 10x FACE
(イメージ図)



Aiスマートフェース



フェース裏側（断面イメージ）の前作との比較。前作のAiスマートフェースが直線的な形状であるのに対し、Ai 10x FACEはAIの設計を、より精緻に再現できているため、曲線的なものになっている

ELYTE
MAX FAST

アジア人のスイングデータのみを
AI設計に活用
アジャスタブルホーゼルも初めて装備

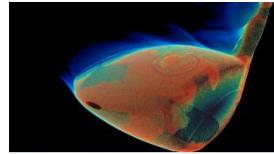
Ai 10x FACEで、弾道を補正するポイントが10倍に増加

新しい「ELYTE」のドライバーにおいて、いちばんの進化ポイントはフェースです。前作のPARADYM Ai SMOKEシリーズにおけるAiスマートフェースは、当時のソフトウェアの能力には、AI設計のフェースデザインを細部までスキヤニングすることに限界があり、製品に100%反映することが困難でした。「ELYTE」では、ソフトウェアを大きくアップデート。微細な部分までフェースデザインを再現することが可能となつたため、コントロールポイント（フェース上にある、最適な弾道に補正する場所）が、PARADYM Ai SMOKE MAX FASTドライバーと比較して10倍の25,000ポイントにまで増加しました。また、AIにインプットしたリアルなスイングデータも、大幅に増やされており、各ポイントにおける補正精度を高めています。このフェースは、コントロールポイントが10倍になったことから、「Ai 10x FACE」と名づけられました。この進化した「Ai 10x FACE」により、前作比較で飛距離が最大8ヤード※1伸び、着弾範囲が最大19%※2狭まる（キャロウェイ調べ）という驚異のパフォーマンスを発揮します。

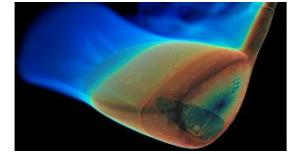
約75回もの試作で、空気抵抗が少なく安心感のある形状に

「ELYTE」では、新たな投資によりチタンを扱うことのできる3Dプリンターを導入。従来の90分の1のリードタイムでプロトタイプが製作できるようになったことで、約75回ものヘッド形状の試作とテストを行うことが可能となりました。最終的に採用されたシェイプは、前作よりもシャローですが、投影面積も大きい安心感のあるものになり、空気抵抗も大きく減少。ヘッドスピードの向上に大きく貢献しています。

ELYTE



PARADYM Ai SMOKE



前作との空力比較。青い色は、気流がスムーズではなく、空気抵抗になっている部分を示している。ELYTEのほうが圧倒的に青色の部分が少ない

打球音の良さにも貢献したサーモフォージドカーボン

ヘッドのクラウンに使用されるカーボン素材には、新たに、航空宇宙分野でも使用されるサーモフォージドカーボンが採用されました。軽くて強度が高いことに加え、従来のトライアクシャル・カーボンより成型がしやすく、より高い精度で設計どおりに製造することができるという特徴も持ち合わせたものです。この新素材を採用したことで重量配分が最適化され、スピン量や打ち出し角が、より理想的なものとなっているだけでなく、心地良い打球音まで実現しています。

Ai 10x FACEは、ほぼ日本人の傾向をもとに設計

「ELYTE MAX FASTドライバー」は、シリーズの中もっとも軽量なモデルとなっていますが、その軽さを語る前に、Ai 10x FACEの設計プロセスについても触れておかなければいけません。日本人を中心としたアジア人のスイングデータのみ（従来は一部がアジア人のデータ）をAIにインプットしており、より日本のゴルファーのスイングの傾向、打点位置に合わせて弾道を補正するコントロールポイントを持ったフェース設計になっていると言えます。ヘッド後端には、ヒール側と中央に2カ所、新しいスタイルのウェイトポートを設置。それぞれ、ドロー、ニュートラルというポジションとなっており、約13gのウェイトの装着場所を変更することでボールのつかまり度合いを調整することができます。

MAX FASTモデルでも、ホーゼルでの弾道調整が可能に

「ELYTE MAX FASTドライバー」のヘッドは体積が460㎤で、ELYTEドライバーよりもやや前後長があり、ボールの上がりやすさを感じさせる形状となっています。ソールは、大部分をチタンで構成しながら、トウ側に一部カーボンを採用することでヘッドの軽量化を実現。ロフトは9.5、10.5、12度の3種類を用意し、MAX FASTと名のつくドライバーでは初めて、アジャスタブルホーゼルも搭載しています。ターゲットゴルファーは、軽量クラブで、ヘッドスピード、ボールスピードをアップさせたいと考えているプレーヤーが想定されており、前作以上に大きな飛びと安定した方向性を、やさしく実現してくれる特性となっています。



ELYTE Xドライバーに似た、
安心感のあるヘッド形状

ELYTE ◆◆◆ (エリート トリプルダイヤモンド) ドライバー

2025年2月7日以降順次発売予定



ELYTE
◆◆◆

CALLAWAY SELECTED
STORE 限定製品

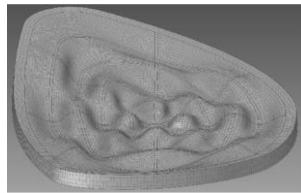
360°カーボンシャーシを導入して、
徹底的に突き詰めた勝つための性能

Ai 10x FACEで、弾道を補正するポイントが10倍に増加

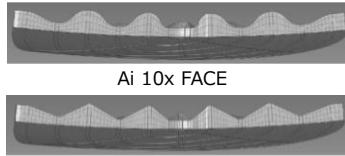
新しい「ELYTE」のドライバーにおいて、いちばんの進化ポイントはフェースです。前作のPARADYM Ai SMOKEシリーズにおけるAiスマートフェースは、当時のソフトウェアの能力には、AI設計のフェースデザインを細部までスキャニングすることに限界があり、製品に100%反映することが困難でした。「ELYTE」では、ソフトウェアを大きくアップデート。微細な部分までフェースデザインを再現することが可能となつたため、コントロールポイント（フェース上にある、最適な弾道に補正する場所）が、PARADYM Ai SMOKE ◆◆◆ドライバーと比較して10倍の25,000ポイントにまで増加しました。また、AIにインプットしたリアルなスイングデータも、大幅に増やされており、各ポイントにおける補正精度を高めています。このフェースは、コントロールポイントが10倍になったことから、「Ai 10x FACE」と名づけられました。この進化した「Ai 10 x FACE」により、前作比較で飛距離が最大8ヤード※1伸び、着弾範囲が最大19%※2狭まる（キャロウェイ調べ）という驚異のパフォーマンスを発揮します。

約75回もの試作で、空気抵抗が少なく安心感のある形状に

「ELYTE」では、新たな投資によりチタンを扱うことができる3Dプリンターを導入。従来の90分の1のリードタイムでプロトタイプが製作できるようになったことで、約75回ものヘッド形状の試作とテストを行うことが可能となりました。最終的に採用されたシェイプは、前作よりもシャローですが、投影面積も大きい安心感のあるものになり、空気抵抗も大きく減少。ヘッドスピードの向上に大きく貢献しています。



Ai 10x FACE
(イメージ図)



フェース裏側（断面イメージ）の前作との比較。前作のAiスマートフェースが直線的な形状であるのに対し、Ai 10x FACEはAIの設計を、より精緻に再現できているため、曲線的なものになっている

Aiスマートフェース

打球音の良さにも貢献したサーモフォージドカーボン

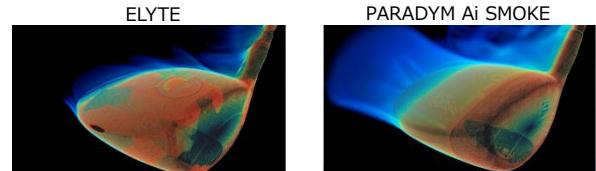
ヘッドのクラウンに使用されるカーボン素材には、新たに、航空宇宙分野でも使用されるサーモフォージドカーボンが採用されました。軽くて強度が高いことに加え、従来のトライアクシャル・カーボンより成型がしやすく、より高い精度で設計どおりに製造することができるという特徴も持ち合わせたものです。この新素材を採用したことで重量配分が最適化され、スピンドルや打ち出し角が、より理想的なものになっているだけでなく、心地良い打球音までも実現しています。

速さと理想の弾道を優先し、重量をヘッドの前後に集中

シリーズ中、プロや上級者向けの位置づけとなる「ELYTE ◆◆◆ドライバー」は他のモデルとは異なり、クラウンにはサーモフォージドカーボン、ソールにはフォージド・カーボンを使用した360°カーボンシャーシを導入しているところが特徴的です。ターゲット層のスキル、ヘッドスピードを考慮し、ボールの上がりやすさよりも理想的な弾道と飛距離性能の追求を優先し、重量配分の自由度を高めるべく採られた設計です。従来同様にソールの前後に2カ所、スクリューウェイトを搭載しています。

体積が450cm³の洋ナシ型で、クラウンには光沢のあるグロス処理

「ELYTE ◆◆◆ドライバー」のヘッドは、体積が450cm³と小ぶりで、ディープフェースかつ、プロや上級者が好む伝統的な洋ナシ型の形状をしています。ロフトは8、9、10.5度の3種類を用意し、アジャスタブルホーゼルも採用。ソールに配置されているスクリューウェイトの初期設定は、フロントが4g、バックが9gとなっており、入れ替えることで弾道の高さやスピンドルを調整することができます。また、他のモデルのクラウンがマット仕上げとなっている一方、「ELYTE ◆◆◆ドライバー」では光沢のあるグロス処理が施されています。なお、シリーズ中、「ELYTE ◆◆◆ドライバー」のみ、CALLAWAY SELECTED STORE限定の製品としてラインアップしています。



前作との空力比較。青い色は、気流がスムーズではなく、空気抵抗になっている部分を示している。ELYTEのほうは圧倒的に青色の部分が少ない



伝統的な洋ナシ型のヘッド形状。クラウンには、グロス処理が施されている

【ELYTEドライバー スペック】

番手	W#1					
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン / Ai 10x フェース					
ボディ素材	8-1-1 チタンボディ+サーモフォージドカーボンクラウン+スクリューウェイト約2g+バックウェイト約13g					
クラブ長さ (インチ)	[A][B][C][D] 45.5					
ヘッド体積 (cm ³)	460					
ロフト角 (°)	9.0	10.5	12.0			
ライ角 (°)	57.0					
シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[A](SR)	[A](R)	[B](S)	[C](S)	[D](S)
ラインアップ	9.0	○L	□L	□L	○L	□L
	10.5	○L	○L	○L	○L	○L
	12.0	□L	□L	□L	□L	□L
バランス	D2.5			D3	D1	
クラブ重さ	約306g	約304g	約303g	約311g	約310g	約306g
シャフト重さ	約58.5g	約55.5g	約53.0g	約64.0g	57.5g	53.5g
シャフトトルク	4.4	4.7	4.9	4.4	4.5	4.9
シャフト調子	中調子				中元調子	

[A]VENTUS GREEN 5 for Callaway(S, SR, R)



¥107,800 (税抜価格¥98,000)

[B]TENSEI GREEN 60 for Callaway(S)



¥107,800 (税抜価格¥98,000)

[C]SPEEDER NX VIOLET 50(S)



¥133,100 (税抜価格¥121,000)

[D]Diamana BB 53(S)



¥127,600 (税抜価格¥116,000)

○：通常在庫 □：受注生産 ①：左用モデル通常在庫 L：左用モデル受注生産

*VENTUS GREEN 5 for Callaway, TENSEI GREEN 60 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

*シャフトスペック値は、メーカー (SPEEDER=藤倉コンポジット株式会社、Diamana=三菱ケミカル株式会社) の公表値になります。

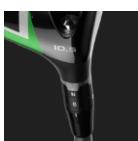
*Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : GOLF PRIDE CLUBMAKER ブラック/グリーン バックライン有り



[A][B]シャフト装着 : 約45g, 口径60

[C][D]シャフト装着 : 約50g, 口径60



アジャスタブルホーゼルシステム

【ELYTE Xドライバー スペック】

番手	W#1		
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン / Ai 10x フェース		
ボディ素材	8-1-1 チタンボディ+サーモフォージドカーボンクラウン+バックウェイト約13g		
クラブ長さ (インチ)	[A][B][C] 45.5		
ヘッド体積 (cm ³)	460		
ロフト角 (°)	9.0	10.5	12.0
ライ角 (°)	59.0		

シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[A](SR)	[A](R)	[B](S)	[C](S)
ラインアップ	9.0	○□	□□	□□	□□
	10.5	○□	○□	○□	○□
	12.0	□□	□□	□□	□□
バランス	D2.5		D1		
クラブ重さ	約305g	約303g	約301g	約304g	約309g
シャフト重さ	約58.5g	約55.5g	約53.0g	57.5g	53.5g
シャフトトルク	4.4	4.7	4.9	4.5	4.9
シャフト調子	中調子			中元調子	

[A]VENTUS GREEN 5 for Callaway(S, SR, R)

[B]SPEEDER NX VIOLET 50(S)

[C]Diamana BB 53(S)



¥107,800 (税抜価格¥98,000)

¥133,100 (税抜価格¥121,000)

¥127,600 (税抜価格¥116,000)

○ : 通常在庫 □ : 受注生産 ■ : 左用モデル受注生産

*VENTUS GREEN 5 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

*シャフトスペック値は、メーカー (SPEEDER=藤倉コンポジット株式会社、Diamana=三菱ケミカル株式会社) の公表値になります。

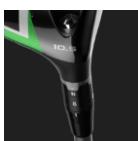
*Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : GOLF PRIDE CLUBMAKER ブラック/グリーン バックライン有り



[A] シャフト装着 : 約45g, 口径60

[B][C] シャフト装着 : 約50g, 口径60



アジャスタブルホーゼルシステム

【ELYTE MAX FASTドライバー スペック】

番手	W#1		
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン / Ai 10x フェース		
ボディ素材	8-1-1 チタンボディ + サーモフォージドカーボンクラウン & フォージド・カーボンコンポジットソール + バックウェイト 約13g		
クラブ長さ (インチ)	[A] 45.75		
ヘッド体積 (cm ³)	460		
ロフト角 (°)	9.5	10.5	12.0
ライ角 (°)	59.5		

シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[A](SR)	[A](R)
ラインアップ	9.5	○	□
	10.5	○	○
	12.0	□	□
バランス	D0		
クラブ重さ	約273g	約274g	約270g
シャフト重さ	約50.0g	約49.0g	約46.0g
シャフトトルク	4.9	5.1	5.3
シャフト調子	中調子		

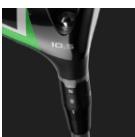
[A] LIN-Q GREEN 40 for Callaway(S, SR, R)  ¥107,800 (税抜価格¥98,000)

○ : 通常在庫 □ : 受注生産 *左用モデルの設定はありません

* LIN-Q GREEN 40 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : GOLF PRIDE CLUBMAKER ブラック/グリーン バックライン有り 約30g, 口径60



アジャスタブルホーゼルシステム

【ELYTE ◆◆◆ ドライバー スペック】

CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

番手	W#1		
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン / Ai 10x フェース / フェースカップ		
ボディ素材	8-1-1 チタンボディ+サーモフォージドカーボンクラウン & フォージド・カーボンコンポジットソール+スクリューウェイト約4g+バック約9g		
クラブ長さ (インチ)	[A][B][C] 45.5		
ヘッド体積 (㎤)	450		
ロフト角 (°)	8.0	9.0	10.5
ライ角 (°)	57.0		

シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[A](SR)	[B](S)	[C](S)
ラインアップ	8.0	□	□	□
	9.0	○■	□■	○■
	10.5	○■	□■	□■
バランス	D2.5			
クラブ重さ	約317g	約315g	約320g	約314g
シャフト重さ	約64.0g	約61.0g	67.0g	61.0g
シャフトトルク	4.4	4.7	3.6	3.2
シャフト調子	中調子			中元調子

[A]TENSEI GREEN 60 for Callaway(S, SR)



¥107,800 (税抜価格¥98,000)

[B]SPEEDER NX VIOLET 60(S)



¥133,100 (税抜価格¥121,000)

[C]Diamana BB 63(S)



¥127,600 (税抜価格¥116,000)

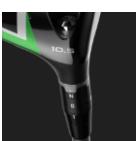
○ : 通常在庫 □ : 受注生産 ■ : 左用モデル受注生産

* TENSEI GREEN 60 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

* シャフトスペック値は、メーカー (SPEEDER = 藤倉コンポジット株式会社、Diamana=三菱ケミカル株式会社) の公表値になります。

* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : GOLF PRIDE CLUBMAKER ブラック/グリーン バックライン有り 約50g, 口径60



アジャスタブルホーゼルシステム